

医学博士課程委員会記録

日 時：令和5年4月13日（木） 13：00～13：30

Zoom 併用会議出席者 72名

学位論文本審査投票者 69名

在籍教授数 86名

○議事

○協議事項

1. 学位論文の本審査について（15件）

医学博士課程委員長から、15件の学位論文について審査願いたい旨説明があり、投票を行った結果、全員を合格とした。

2. 論文博士申請予定者資格認定について（2件）

博士号資格審査委員長から、資料に基づき、2件の資格認定について、同委員会で合格とした旨説明があり、審議の結果、資格を認定した。

3. 2023年度医学論文博士外国語試験の実施について

大学院教務委員会副委員長から、資料に基づき、医学論文博士外国語試験の実施体制について、説明があり、審議の結果、承認した。

4. 非正規生の受入れについて

大学院教務委員会副委員長から、資料に基づき、研究指導委託による特別研究学生の受入れ3名について説明があり、審議の結果、承認した。

5. 医学系研究科における新たな学位審査制度 実施要項の改正について

大学院教務委員会副委員長から、資料に基づき、次の項目について、実施要項の一部改正を行う旨説明があり、審議の結果、承認した。

（改正項目）

・ 3. 対象

「申請時には4年次の在学者のみ」とし、「4年次の在学期間中に審査が終了しない場合は、翌年度の3月末までに審査を終えなければならない。」との文言を追加。

・ 6. 申請論文の著者

「学位論文に掲載した研究データは、他の学位申請には使用できない。」と追加。

また、令和4年度に実施した2名の Track2 による審査の概要について、各主査から説明があった。

6. 医学系研究科論文博士（医学）の資格認定における研究歴審査基準の一部改正について

大学院教務委員会副委員長から、資料に基づき、審査基準の一部改正を行う旨説明があり、審議の結果、承認した。

7. 協力講座の参画依頼について

大学院教務委員会副委員長から、ヒューマン・メタバース疾患研究拠点より、協力講座の参画依頼があった旨説明があり、審議の結果、承認した。

○報告事項

8. その他

▼大学院学生の異動について

大学院教務委員会副委員長から、資料に基づき、学生異動について報告があった。

▼大学院教務委員会報告について

▶ 3名以上の複数筆頭著者による主論文について

大学院教務委員会副委員長から、大学院教務委員会での協議方針について、次のとおりとする旨報告があった。

(協議方針)

- ・複数筆頭著者の論文を大学院生の学位論文として使用する場合は、申請学位論文（英文原著論文）の全著者の中で、当該大学院生の記載順位が1番目と2番目のみ有資格とする。
- ・現在、論文作成をしていることも考え、1年後にこの方針に切り替える。それ以前にしていた研究は今まで通り教務委員会で審議する。

▼2023年度修士課程および博士課程の入学人数について

大学院教務委員会副委員長から、修士課程入学人数24名（定員20名）、博士課程入学人数183名（定員172名）である旨報告があった。

▼2023年度実施大学院入試日程について

大学院教務委員会副委員長から、大学院説明会については、説明動画をオンライン配信する旨報告があった。

また、修士課程及び博士課程の大学院入試において、各入試で問題作成や口頭試問をご担当される先生方に対し、協力願いたい旨依頼があった。

▼次月以降の博士課程委員会の日程について

医学博士課程委員長から、資料に基づき、次月以降の博士課程委員会の日程について説明があった。

以上